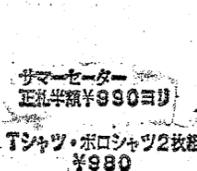
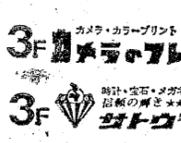
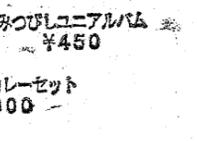
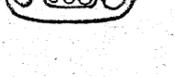
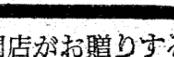


ときめく週末をカラフルなショッピングで
お楽しみ下さい
ビューティフルな夏の専門店大バーゲン



ヨークショッピングスクエア有名専門店グループ

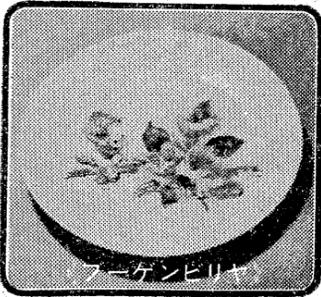
 1F taka-Q Tシャツ ¥400 ネクタイはしる水着品 1F つばめヤチエン Yシャツ ¥980	 1F Boutique-Hana ブティック 1F 東京おしやれ教室	 サマーセーター 正礼半額¥990ヨリ Tシャツ・ポロシャツ2枚組 ¥980
 1F ハイネット 挂ウェアスタイル ¥5,800	 1F ヴックヤマ エナメルショッピング ¥1,650	 1F イマ靴店 ショッピングカジュアル 牛皮 ¥980
 1F 赤まつ 婦人プラモードサンダル ¥95均一	 2F 安田屋 本染ゆかた ¥980	 3F トイコサ ケールサマー この夏一番セール
 2F わたてべ 綿白かすり ¥950	 3F 赤マカ ゴルフスボン ¥2,800	 3F 共立レコード 熱いひとときを音楽で……
 3F アラフレンド コニカC-35&L ¥13,900	 3F 天文 サルそば ¥150	 3F マルト毛書店 みつびしユニアルバム ¥450
 3F サトウ 電子時計お買上の方 エネルギー永久保証	 1F パーラ森永 フラッパ ¥180	 3F 十銭屋 グルーリ付カレーセット ¥1,000
 1F ベニス ハードアイス・ジュース ¥50~¥80	 1F ベニス チェーン	 1F ユーカラ吉 長崎チャンポン ¥250

毎週土曜日
花の絵皿プレゼント

プレゼントの日 6月30日

●毎週土曜日・お買上げ1,000円以上のレシートご持参の方、先着2,000名様に、沖縄と花をテーマのオリジナル、花の絵皿《ブーゲンビリヤ》を進呈いたします。

●進呈場所→1階エスカレーター前



有名専門店がお贈りする
花のワゴンセール

6月27日~7月1日

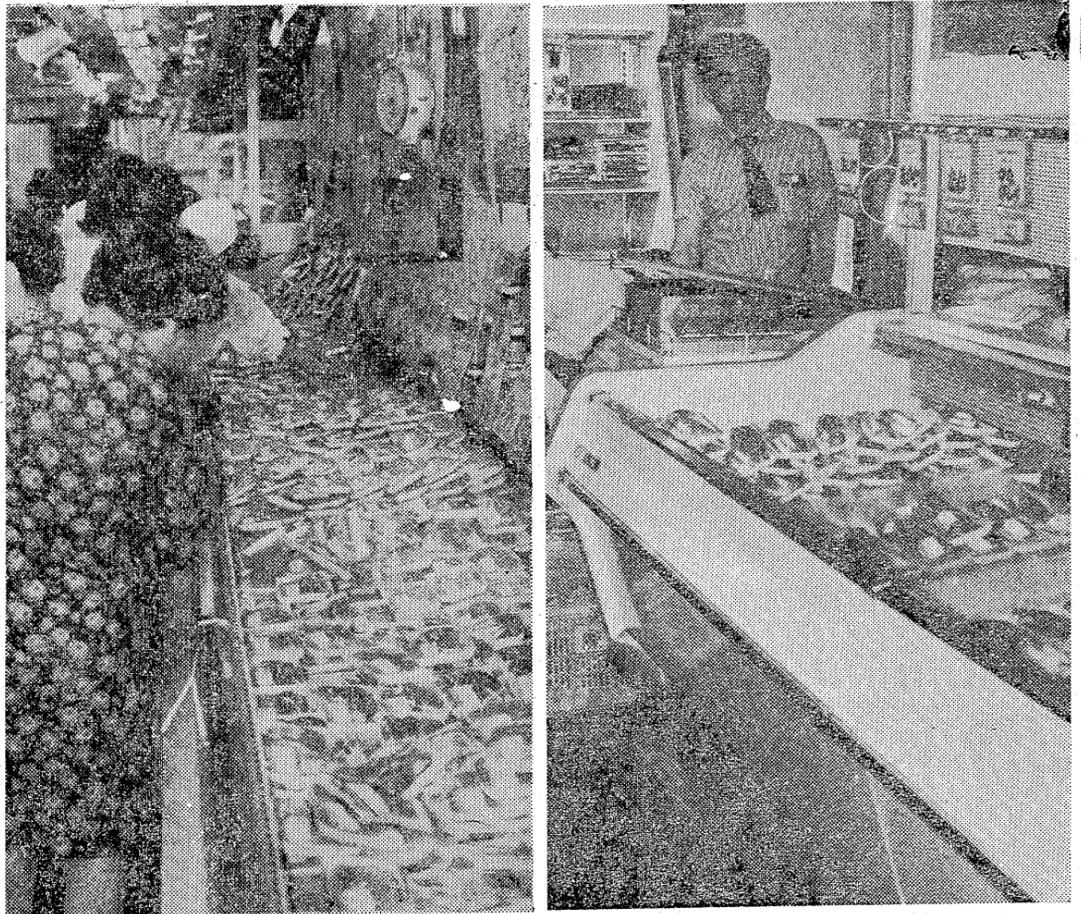
店頭にて

ヨークショッピングスクエア平店の有名専門店が、夢いっぱいのお買徳品をステキなワゴンにいっぱい詰めて、特別価格でご奉仕



平店
TEL.0246(23)3636
イトヨカド
ヨークショッピングスクエア

あぶないと言うけれど 何を食べてたら良いの



不親切極まる行政だ

通産省消費生活改善監視員・主婦の会(以下主婦の会)の調査によると、近海魚の水銀、POB汚染と情報があつて、いったい何を食べていいのか、消費者にこんな不親切な行政はない。

近海魚は近海のものではなく、遠くまで運ばれたものが多く、近海のものでも魚の種類によらず、エラで呼吸する部分の汚染がひどい、なるべく良い部分だけを食べてほしい。

汚染魚は扱わない

産地別のラベを使用し、汚染魚は扱わない。大黒屋食品部が、産地別のラベを使用し、汚染魚は扱わない。大黒屋食品部が、産地別のラベを使用し、汚染魚は扱わない。

無関係な魚も安くなった

大黒屋食品部が、産地別のラベを使用し、汚染魚は扱わない。大黒屋食品部が、産地別のラベを使用し、汚染魚は扱わない。

近海魚の分析依頼中

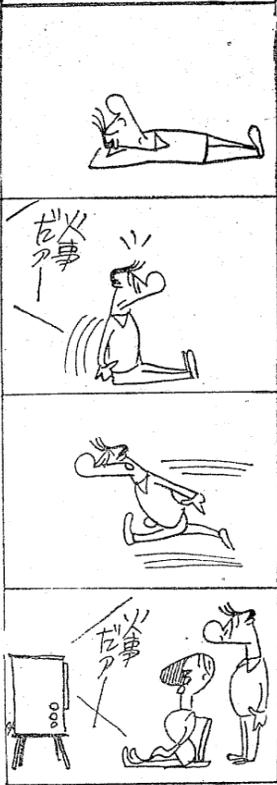
鮮魚商組合(魚販)田中一介氏が、近海魚の分析を依頼中。近海魚の分析を依頼中。

氷銀汚染とまどろい主婦

厚生省が二十五日、専門委員会による魚の水銀許容量の調査結果を公表。主婦は、魚の水銀汚染を心配している。

へアさん

7921 中島安男



くらし

市内小企業に働く二十五歳未満の勤労青少年及び指導者、または親長が適当と認められた方。利用料は無料。空を独占。

若い働く人たちのオアシス

特筆されるのは、最近体カフのり(髪)を二十人以上が一度に出来る「ヘアサロン」。

あす緊急理事会開く

平政会理事(部長)大黒屋食品部が、緊急理事会を開く。平政会理事(部長)大黒屋食品部が、緊急理事会を開く。

青年学級の学級生募集

いわき市平公民館では、青年学級の学級生募集。いわき市平公民館では、青年学級の学級生募集。

優良芸妓に二三子さん

全大会で表彰された優良芸妓に二三子さん。全大会で表彰された優良芸妓に二三子さん。

昭土地開発 48-7471 宅地建物取引業 (2) 198 常設開閉町上開 電42-2224

無線車をご利用ください 電話 2175(代) 本社 2640 5647 子問営業所 2532

ハセガワ美容院 平字三丁目 電455六

橋本小鳥店 74-4013 大黒屋デパート小鳥部 23-1191

カメラ先渡し ポーナス払いOK! 撮影海外旅行 期日 8月25・26・27日 (三日間) 費用 分割払い

計算機なら明和商販 いわき市平字才植小路一 電77七八一

炭鉱に代わる内陸工業団地

鹿島地区に操業一号

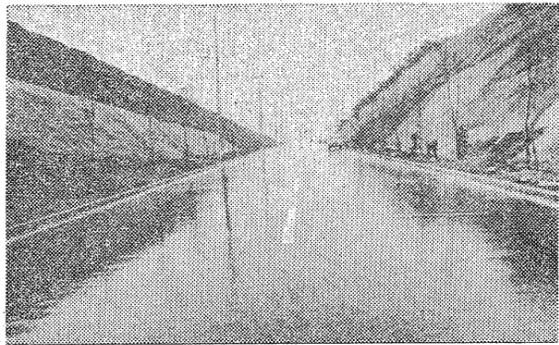
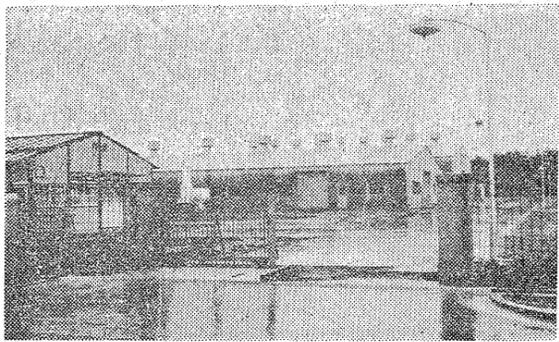
秋 東北プラスチック工場

いわき市常盤下船尾に第一期建設工事の完了を待たず、東北プラスチックいわき工場(佐藤隆雄社長)が月十五日午後一時から落成式を行い、正式に操業を開始する。同工場は秋田に本社を持つプラスチックの水タンクやタクトなどの強化プラスチック製品「F.R.P.」を製造する工場で、従来は炭鉱職業者雇用を原則としており、公営では無業といわれている。

すでに7社が進出、着工 第一期

東北プラスチック工業株式会社 庫六・六平方メートル、原料倉庫
 (本社・秋田県秋田郡鹿島三自 六・六平方メートル、製品倉庫十三・二
 一ノ六〇〇資本金三千円)河野達
 吾社長)が鹿島地区操業第一の
 環として、福島、茨城地方の販路
 拡張をコストアップをねらっての
 進出工場。今春落成、整地が完成
 した鹿島工業団地第一期に、小
 名浜吉野石曹と隣合せて進出、
 一足先に操業を開始する。

一万八千平方メートルの工場用地に、
 管理棟百九十八平方メートル、第一工場
 七百八十一・七平方メートル、第二工場
 三百二十七・六平方メートル、危険物倉



平方メートル、工業出荷用五百円を定め
 ざし着工。今春第一期工事の二十
 四万平方メートルが造成され、小名浜吉
 野石曹、大三製鋼、丸泰産業、日
 本梱包通運、東北建設機械、高橋
 製作所、そして東北印刷の傍系公
 社で東北プラスチックの合計七社
 の進出が完了して、工場建設に着
 手、そのトップを飾って東北プラ
 スチック工場が操業を始めること
 になった。

産業観光バスを計画 常交が地元企業見直そう

常盤交通は二十六日、創業五十
 周年記念行事の一環として、いわ
 き市内にある主要企業をバスで見
 学する「産業観光」を行なった。
 が、参加者から大反響があった。
 これは市内にある主要企業も地域
 を離れるとまったく知られていな
 いことから、多くの市民が企業の
 所在地、業務内容などを詳しく
 もらおうと、初の試みとして、
 企画したもので、市民代表六十人
 が参加した。

参加したのは婦人会、学校教
 育、商工業、市など各機関の代表
 六十人で二台の観光バスに分乗、
 午前九時同交通本社前を出発、最
 初に四倉にあるクリナップの井上
 工業を見学した。同工場は住宅関
 連産業として、クリナップの各工
 知られておらず、調理、ガ
 スレンジなどを製造しており、年
 商百二十億円といわき市内でも有
 数の企業。次いで小川町の岡田乳
 業に行ったが、ここでは牛乳、ヨ
 ークルト、バター、チーズ、その
 他乳製品の製造工程を見た。また

に際下、バスを運転している小
 名浜のレナウンいわき工場、泉町
 の日興製菓の輸出部を製造する
 常盤水産小名浜工場、勿来地区で
 は十條製紙、常盤共同水力勿来発
 電所をそれぞれ見学して午後五時
 同交通本社前に着いた。

参加者の大半は市内のこれらの
 企業を初めて見たという。ほとん
 多く、企業を見学するたびに、保
 員に作業工程、業務内容を詳
 しく聞いたり、メモをとったりす
 る姿が見られ、主催者側も大成功
 だったと喜んでた。

しかし企業の中にはハウスの
 関係で作業場を直接見学できず、
 窓越しで見学したところもあ
 り、なお同交通では将来、いわき
 所めぐりに企業コースをいれる
 計画だと話していた。

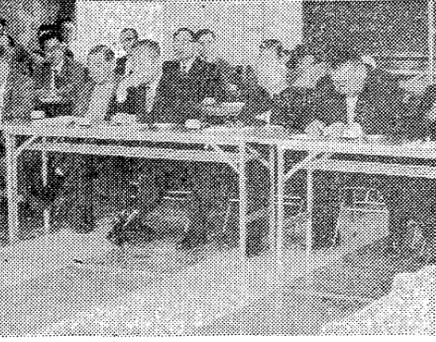
【初の産業観光バスで地元企業を
 見学する市民代表】



救急法実 県公民館会議
 技講習会 は七月五日前
 十時から、常盤公民館で自然受

この講習会は県公民館、中道
 り、浜通りなどで開いているが、
 浜通りでは同公民館を会場に決め
 た。参加者は三角きん、テニス

救急センター建設 対策協が具体化へ立案



いわき市救急医療連携対策協議
 会(救急センター)の全体会議は二
 十五日午後一時から常盤下船尾で開
 き、規約改正、今後の運営方針に
 ついて討議した結果、救急センタ
 ーを建設して地域の安全と健康
 を保持することを目的とし、急
 急や交通事故などによりおこされ
 ない意味での救急医療体制の
 確立、つまりいわき市議会が示し
 た基本方針、何の補償もな
 機関の協力を得るというので、責任
 は自治体にあるという方針の伴う
 ものを運営方針とした。

その運営方針でも、いわき市医
 師会側から「救急医療対策協議
 会」の設置を促された。一日早く救急
 センターの設置運動を進めるべき
 だ」との意見が出され、その意見
 に出発者の過半数が賛成、さうそ
 同協議会内に救急センター設置
 分科会をつくることとし、七月末
 までに具体案の作成を完了するこ
 とにした。

設置分科会のメンバーは医師会
 側から、山田國隆、永山い
 き地方行政連絡会長、坂本市民部
 長、盛城保健所長などとなっている。
 設置分科会は、いわき市警署支所
 の予防課に、八月一日午後一
 時から警署市民会議室で日本赤十字
 予防注射を行なう。

高坂で三種 いわき市小川支
 会の子防課 所は二十八日午
 後一時から高坂公民館で二種混合
 予防注射を行なう。

福屋伊太郎氏(元小名浜町議)
 は老衰のため二十六日午前八時五
 十分死去、八十八歳。告別式は二
 十九日正午から小名浜市立自衛
 院で行なう。喪主は福屋氏。
 いわき市小川支所の出身、福島師
 範、小名浜小学校校長、小名浜水
 産工業会社、小名浜信用金庫の各
 専務をはじめ、民生委員、推進委員
 長などをつとめた。

発生	死者	傷者
いわき	6件	8人
中津	2件	3人
常盤	0件	0人
南郷	0件	0人

(26日・県警交通企画課調べ)

からまた、同じか開かれていなか
 ったが、この会議で一応の結論を
 出すことになった。

会議には各機関の関係者三十人
 が出席して、規約改正の今後の
 運営方針の二点について話し合っ
 た結果、これまで休日、夜間の急
 急、交通事故などによる救急患者
 に対する搬送体制や診療体制の整
 備が規約の主体となっていたの
 を、地域住民の安全と健康を保持
 することを目的とした。それに
 は急急、交通事故などによりおこ
 ない広い意味での救急医療体制の
 確立、つまりいわき市議会が示し
 た基本方針、何の補償もな
 機関の協力を得るというので、責任
 は自治体にあるという方針の伴う
 ものを運営方針とした。

個性あるセンスの良い仕立て

★夏物新柄服地<舶来・国産>
 そろっております

福島信販加盟店

大 大平テラ

ニースンヨーフク
 平・堂ノ前28 東邦銀行西支店横 TEL・④3972 (新設) ④4029

楽しいお食事とご宴会は洋食で

◇ユッタリとしたゴージャスなふんいきのグリルでフランス料理を
 手ごろなお値段でサービスしております

◇ご宴会のプランは洋食で.....
 4人様から70人様まで大小5つのお部屋を用意してございませ
 お気軽にご相談下さいませ

◇無料駐車券進呈.....お車でお食事のときは隣の田町駐車場をご利用下さいませ

コック見習
 募集中

RESTAURANT BRASIL

営業時間
 AM11:00
 PM8:30

いわき市平・田町・並木通り/いわき民報ビル2F ④2990



平R.C. 創立 20周年 祝

(日時) 1973.6.28. 1:00P.M. (場所) 平・しゃくなげ会館



ごあいさつ 平R.C.会長 高橋 浩二

平R.C.は本年六月二十八日を以って創立満二十周年を迎え、ここに記念式典を挙げることにいたしました。当クラブは昭和二十八年、東京クラブ特別代表柏原孫左衛門さんと郡山クラブ会長故金森五郎さんらの指導により、チャーターメンバー二十五人でスタートいたしました。現在六十二人の大世帯に発展いたしました。この間小名浜クラブを初めとし、浜通り地区に九つのクラブを誕生させ、当クラブからR・I・第三五三地区のガバナーを出し、地区協議会を初め各種ミーティングを開催、なかならず昨年十月には秋田、山形、福島三県下八十七クラブを初めとし、全国クラブからの出席者約千二百人と国際本部からはR・I・会長代理の臨席を得て盛大なる地区年次大会を開催することが出来ました。会員一同ロータリー精神に則り、地域社会に貢献すべく努力をいたしている次第でございます。



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

記念式典プログラム

- 13:00 点鐘 開式(奉仕の理想)
 ロータリー(奉仕の理想)
 来賓紹介 会長 諸橋浩二
 物故会員追悼 幹事 阿部 乙之
 経歴報告 実行委員長 石島 公徳
 ごあいさつ 会長 諸橋浩二
 感謝状・記念品贈呈 会長 諸橋浩二
 国際ロータリークラブ 飯島 隆俊
 第三五三地区ガバナー 柏原孫左衛門
 スポンサークラブ 服部 正次
 郡山クラブ代表 遠藤弥三
 スポンサークラブ 代表 益三
 東京クラブ代表 益三
 クラブ歴代幹事 益三
 記念品贈呈 会長 諸橋浩二
 ①チャーターメンバー 益三
 ②十一年以上100%出席会員 益三
- 13:30 記念事業百録贈呈 会長 諸橋浩二
 祝辞 益三
 国際ロータリークラブ 飯島 隆俊
 第三五三地区ガバナー 柏原孫左衛門
 スポンサー(東京)ロータリークラブ特別代表 大和田 弥一
 いわき市長 野崎 理夫
 いわき商工会議所会長 阿部 乙之
 14:15 祝電披露 幹事 阿部 乙之
 ロータリー(我等の生涯) 益三
 万歳三唱 益三
 スポンサー(郡山)クラブ 遠藤弥三
 閉式のご挨拶 副会長 竹林 貞吉
 点鐘 会長 諸橋浩二
 14:20 諸事お知らせ S.A.A 伊藤 昭一
 △祝電披露△ 益三
 15:00 お礼のご挨拶 会長 諸橋浩二
 乾杯 東京クラブ代表 服部 正次
 祝宴 益三
 ロータリー(手に手つないで) 益三
 閉会のご挨拶 親睦委員長 益三

平R.C.・記念事業の代表の1つ——
 平市民会館前庭にあるキューピット像の噴水
 (作者・本多朝忠氏)は、昭和38年に平R.C.が創立10周年記念事業として、はじめ6号国道と平大通りの交差点(平消防署前)ロータリーに建設した。その後、交通激化に伴いロータリー撤去とともに現在地に移動された。台座に「4つのテスト」が刻込まれてあり市民のこよない憩いの場となっている。

台座に4つのテスト キューピット像



いわき市議会議長 鈴木 栄



いわき市長 大和田 弥一

勿来ロータリークラブ

幹事 高田 敏也
 副会長 坂代 正喜
 会長 田代 一郎

小名浜ロータリークラブ

幹事 山田 好明
 副会長 山田 英治
 会長 山田 作太

常磐ロータリークラブ

幹事 田坂 春夫
 副会長 吉井 本雄
 会長 橋本 雅夫

内郷ロータリークラブ

幹事 田田 忠浩
 副会長 吉田 秋
 会長 高田 保

平・東ロータリークラブ

幹事 石黒 良雄
 副会長 石黒 信成
 会長 藤来 地勇

ことしのターゲット

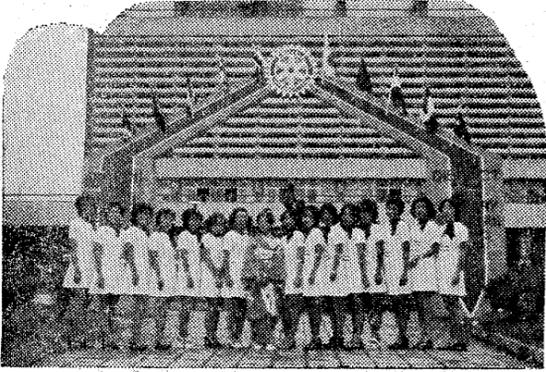
Let's take a new look

歴代会長

- 初代 諸橋久太郎 (昭和28、29年)
- 二代 諸橋久太郎 (昭和29、30年)
- 三代 野崎善太郎 (昭和30、31年)
- 四代 秋野 謙雄 (昭和31、32年)
- 五代 秋野 守一 (昭和32、33年)
- 六代 山崎忠兵衛 (昭和33、34年)
- 七代 濱崎善三郎 (昭和34、35年)
- 八代 西脇三樹雄 (昭和35、36年)
- 九代 岡田 健治 (昭和36、37年)
- 十代 飯島 隆俊 (昭和37、38年)
- 十一代 飯島 隆俊 (昭和38、39年)
- 十二代 加藤 武久 (昭和39、40年)
- 十三代 長崎 武久 (昭和40、41年)
- 十四代 伊藤 親雄 (昭和41、42年)
- 十五代 勝田 敏治 (昭和42、43年)
- 十六代 北村三郎 (昭和43、44年)
- 十七代 山崎善兵衛 (昭和44、45年)
- 十八代 野沢 武蔵 (昭和45、46年)
- 十九代 松本 勇 (昭和46、47年)
- 二十代 諸橋久太郎 (昭和47、48年)



20年間無欠席 20年間無欠席というのは平クラブではもちろん、東北地区においてもた一人という美譽の存在。地区年次大会で飯島氏から表彰される野沢副会長。



ロータリークラブの先兵 18歳から卒業まで、平クラブは全会員女子で20人。地区大会に市民会館前。任中の最大の難題は地区分割の問題でありました。

元来、日本ロータリーの地区は、最初は日本が二地区であったものが、二地区となり、それが昭和三十一年から四地区となり、平クラブは、東北・北陸・北道・北支那の四地区の中に編入されました。さらに東北と北支那が分離し、さらに東北が二地区に分割されたのであります。ところが東北の秋田、山形、福島をさらに再分割する案が国際本部において進められ、行政区域に關係なく分割する国際本部の案に対し、飯島ガバナの再三の交渉により秋田、青森を一地区に、山形、福島を一地区とする案を見たと、飯島の努力で多くなり、いよいよ実現したと聞いています。

平クラブは昭和四十五年二月例会場の親睦により備品および書類の一部を焼失し、例会場を一年余りたり大黒屋テニートに移転したこともありましたが、創立以来「いわき民報社内ラッシュ」を例会場として今日に至っております。創立時二十五人であった会員その後、多少の変遷を経て二十一年間に物政会員九人を出し、現在では会員数六十二人に達し、このうち正会員二十一人を数え、ほか名誉会員五人を擁し、ホテル・ハウス・フェロー八人を出し、ロータリー財団への寄付も八〇〇に達し、地区内でも五指を屈する首位の立場にある。

ロータリーとは

正式に国際ロータリーに加盟の承認を得たのであります。福島県内では郡山、福島、会津若松について第四番別代表より勿来クラブの結成を見るに至りました。時たかも昭和三十六年五月には第五十二回国際連合の開催に際し、国際連合の理解と友情を深めようとする。この四つの道徳を、そして各々、勤

① 真実かどうか。
② 公平に公平か。
③ 好意と友情を深めようか。
④ 同僚のためになるかどうか。
⑤ 四つの道徳を、そして各々、勤

ロータリーの標語

最もよく奉仕する者

 野沢武蔵 ロータリーの女性地区委員 いわき民報社取締役社長 平字田町六三 電〇一六六六代	 三浦保 地区会計長 常備銀行平支店長 平字田町目 電〇二二二二代	 堅田誠一 地区資金委員長 株式会社建設シャモット社長 平字田町二二 電〇一六三四代	 諸橋富弥 地区副幹事 モロシサイエンス代表取締役 平字新川町二〇一 電〇一三四五代	 坂本行蔵 地区幹事 株式会社平治版所代表取締役 平字一丁目九 電〇六八八五代	 飯島隆俊 国際ロータリー 第三十三地区ガバナ 日本石炭協会副会長 内郷御膳町久世原二〇二 電〇二八六〇	 松本勇 クラブ奉仕(理事) 白濁の酒造株式会社社長 平字平字長ノ口八五 電〇二八二五	 坂田祐造 SAA副委員長 株式会社坂田商店代表取締役 平字二丁目三六 電〇四四二八	 坂本昌蔵 職業分類委員 株式会社坂本紙店代表取締役 平字一丁目二五 電〇六三二一代	 吉田仁 会報委員長 吉田整形外科医院院長 平字新町五(公園) 電〇九四三五	 山野辺昭 会報副委員長 七七七銀行支店長 平字三丁目二四 電〇三三二一代	 島田晋甫 会報委員 株式会社平和興行 平字田町六〇 電〇六四七代	 大平伊左雄 雑談委員長 太平盛福堂資材代表社員 常盤下湯長谷町九 電〇二〇五三	 大久保泰祐 雑談副委員長 今友会社大員役員 平字田町七二 電〇三四五〇	 岡田正敏 雑談委員 岡田電気産業株式会社 取締役社長 平字川瀬字明台町二七 電〇四二二一代	 馬目勝次郎 会員連絡副委員長 株式会社大黒屋百貨店社長 平字中町 電〇一九二一代	 山崎慶一 親睦委員 塩屋山崎会合代表社員 平字百敷高町三 電〇二〇一〇	 田中春雄 親睦委員 田中カラダ店社長 平字田町五 電〇二〇二四代	 松留悦二 親睦委員 花柳登代蔵 平字田町 電〇三九八四	 金子益三 親睦委員 株式会社秋月書務取締役 平字田町四六 電〇一五五二一代	 根本義男 ロータリー情報委員 株式会社シャモット時計店社長 平字二丁目二二 電〇二六〇七代	 神谷光一郎 ロータリークラブ委員 神光株式会社代表取締役 平字田町一 電〇三〇四八	 小川芳勝 社会奉仕委員長(理事) 株式会社「ラ」オカワ 代表取締役 平字百敷町五〇 電〇三八五四	 原晋 社会奉仕副委員長 原晋科医院院長 平字田町三 電〇三〇三五	 安田幸雄 国際奉仕副委員長 NHKいわき放送局長 平字小太郎町三二四 電〇八二二一代	 石島公德 国際奉仕委員長(理事) 石島眼科醫院院長 平字田町二〇 電〇四二〇七	 小野敬三 職業奉仕委員 日本生命平南支店長 平字小太郎町 電〇六七五四	 吉村昭三 職業奉仕委員 綿昭有限会社社長 平字平字田町四の二 電〇五五八七	 加藤武久 職業奉仕委員 株式会社不二屋社長 平字田町一 電〇二二三三	 筆保卓志 職業奉仕委員 山吉証券いわき支店長 平字百敷町九 電〇九二二五代	 岡田健治 国際奉仕委員 岡田製紙株式会社代表取締役社長 平字上川原七八 電〇六二五二一代	 長谷川常吉 国際奉仕委員 堀江製紙株式会社社長 平字才根小路一 電〇二二二一代	 安田幸雄 国際奉仕副委員長 NHKいわき放送局長 平字小太郎町三二四 電〇八二二一代	 石島公德 国際奉仕委員長(理事) 石島眼科醫院院長 平字田町二〇 電〇四二〇七	 小野敬三 職業奉仕委員 日本生命平南支店長 平字小太郎町 電〇六七五四	 吉村昭三 職業奉仕委員 綿昭有限会社社長 平字平字田町四の二 電〇五五八七	 加藤武久 職業奉仕委員 株式会社不二屋社長 平字田町一 電〇二二三三	 筆保卓志 職業奉仕委員 山吉証券いわき支店長 平字百敷町九 電〇九二二五代	 岡田健治 国際奉仕委員 岡田製紙株式会社代表取締役社長 平字上川原七八 電〇六二五二一代	 長谷川常吉 国際奉仕委員 堀江製紙株式会社社長 平字才根小路一 電〇二二二一代
--	--	---	---	--	---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	--	---	--	---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	--	---	--	---	--	---	---	---	--	---	--	---

